事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表結果 ラルジュ蘇原 第2教室 (令和7年3月25日)

令和6年度 配布3名 回収3名 回答率100%

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|---------|----|---|----|-----|--|
| 環境·体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか | 3 | 0 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 3 | | 送迎に出払ってしまい、一人で複数人を見ることがしばしばある。送迎が多い為しっかり子どもの学習、様子を見れない日がある。職員を増やす。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、子どもの利用に配 慮が適切になされているか | 3 | 0 | 第2教室のパーテーションの空間が問題。北側の相談部 屋を2階に移して活動の場を広める。 |
| 業 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 1 | 2 | 虐待防止チェックのように月1か隔月位に位置付けない と広く職員の参画は無理。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 2 | 0 | |
| 務改善 | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 2 | 0 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか | 0 | 3 | 第三者委員会が設けてあるのか分からない。組織図に位 置付け、一覧表を壁面に提示する。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 3 | 0 | |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 0 | ラルジュ各務原以外の相談事業者と上手く連携が取れ ない。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、 標準化されたアセスメントツールを使用してい るか | 2 | 0 | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 2 | 0 | チームとして進められる時間の確保が難しい。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか | 2 | 0 | 固定化してよい面と、変える必要のあるものとを分け、そ の上の工夫が必要。 |
| 適切な | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか | 3 | 0 | |
| 支援の | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成しているか | 3 | 0 | |
| 提供 | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担につい て確認しているか | 3 | 0 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有しているか | 3 | 0 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか | 3 | 0 | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断してい るか | 3 | 0 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っているか | 1 | 1 | 複数組み合わせて行う弱さもあるので、重点を決めて支 援をしていくのが効果的と思う。 |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわ しい者が参画しているか | 1 | 2 | |

| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 1 | | 送迎時の確認はできているものの年間計画・行事予定等 までは全て把握できているとは言えない。 |
|--|----|--|---|--|--|
|--|----|--|---|--|--|

| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報が表している。 | 3 | 0 | 出向いたり、電話での情報共有はしているが、マイルール は発達段階で変わるのであくまでも参考程度と考える。 |
|--------------|----|---|---|---|---|
| | 23 | 報共有と相互理解に努めているか (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し ているか | 0 | 2 | 地域の協議会や包括支援センターと連絡を取って行う余 裕がない。年間計画に連携会議を位置付ける。 |
| | 24 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか | 3 | 0 | |
| | 25 | 理理解を持つているか 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っているか | 1 | 1 | 子育て関する講座を設けるとよい。 |
| | 26 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 3 | 0 | |
| | 27 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか | 2 | 0 | 保護者からラルジュノートに悩み事が記載されているもの の、適切な助言ができているか疑問符がつく。 |
| | 28 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか | 3 | 0 | |
| | 29 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 3 | 0 | |
| 保 | 30 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信しているか | 3 | 0 | |
| 護者 | 31 | 個人情報に十分注意しているか | 3 | 0 | |
| こへの説 | 32 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしているか | 3 | 0 | |
| 明責任 | 33 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか | 3 | 0 | |
| 等 | 34 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | 0 | 職員に緊急時対応マニュアル等が周知徹底するため見え るところに掲載しておく。 |
| | 35 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っているか | 3 | 0 | |
| | 36 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか | 3 | 0 | |
| 非常時等の対 | 37 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 0 | 必要に応じ個別支援計画に載せておく。 |
| | 38 | 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | 0 | |
| 応 | 39 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか | 3 | 0 | |